

2014 年度活動報告

I. 総括

活動 13 年目の 2014 年度は、様々な活動を通して地域への社会的影響と認知度は深まり、基幹事業のスポーツ教室事業だけではなく地元民間企業や関係諸団体との実質的協働事業の実施や提案をすることができました。一方、国や日本体育協会が主催する各会議に理事長が委員として参加、今後のスポーツクラブの在り方について意見を述べる機会が与えられ、将来に向けて貴重な一年でありました。2020 年東京五輪開催に向け、各関係機関で様々な企画がたてられ、スポーツ環境が大きく変化し始めた年でもありました。東京五輪を支えるためにもますます地域スポーツクラブが日本国内でスポーツ界を支える地域の原動力として、また、地域社会のプラットフォームとして、さらには五輪後のレガシーという視点においても脚光が当てられ始めた年でもありました。

あらためて日本のスポーツ界を底辺で支える我々地域スポーツクラブの地道な活動が国民生活にとって必須となって来たようにも思います。

1. 2014 年度は、理事長が文部科学省が主催するコーチングコンソーシアム、中央教育審議会の委員として活動し現場の状況含め方向性について提言することができ、また 2015 年度よりスタートする地域スポーツ推進体制の在り方に関する有識者会議の委員としての打診もあり、さらに重要な役割を担うこととなりました。
2. 昨年まで受託していた文部科学省委託事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を地元で継続させるべく大田区と協議を重ね、2015 年度より予算化が決まり継続することができるようになりました。これも関係皆様のご協力と地道な活動が評価さらたものと感謝申し上げます。この事業を通してスポーツ界の底辺の重要性と新しいスポーツインフラを構築する必要性を訴え、さらに行政と地域が一体となって地域のスポーツインフラの構築むけ検討していくことが大きな課題と考えます。
3. 特に、小学校の体育授業への派遣コーディネーター（保健体育教員免許取得者）の充実と中学校部活動への支援は、地域スポーツクラブとも連携して行うことで、幼児から中学生までの期間安定的に専門家が正しい技術指導で良質のスポーツソフトを提供するシステム作りが重要なテーマと考えます。ピボットフットとして 2014 年度は、大田区内 2 中学校の部活動へ 3 種目（バスケットボール、野球、チアリーディング）の指導者を派

遣し大きな成果がありました。また、ピボットフットで開催しているチアリーディングが、正式に大森第十中学校の部活動として発足し活動できるようになり、同校の野球部の応援や、ピボットフットチアリーディングの子供たちと一緒に地域活動が行われ、関係者に大変喜ばれました。

4. 理事長が幹事を務める全国 SC 連絡協議会（全国約 3500 の地域総合型スポーツクラブ）も自主自立に向け事業化の視点での議論が深まり、全国一律の議論ではなく、リーダー的クラブが参集して事業体設立に向け理事長も発起人の一人として、（仮）総合型スポーツクラブプロジェクトが立ち上がりました。説明会に全国から約 60 クラブと 21 の企業団体が参加し大きなうねりとなり、2015 年度に具体的な活動ができる基盤を作ることができました。今後はさらに各クラブはもとより県、ブロック、全国 SC としての今後の運営基盤の確立が急がれることとなりました。本年度は、秋田県、岩手県、山形県、群馬県の SC 連絡協議会で講演し現状を確認することができました。
5. （仮）総合型スポーツクラブプロジェクトの事業化を推進するにあたり、経済産業省との有効的な議論の場で様々な情報交換と複数社のスポーツに関する企業・団体と連携に関する議論をすることができるようになりました。2015 年度具体的な活動となることが期待されています。一方、日本経済団体連合会（経団連）スポーツ部会で講演の機会を頂き、企業スポーツとの連携協働における具体的な提案をすることができ、今後の展開が楽しみとなりました。
6. 理事長が全国 SC 連絡協議会の幹事に就任したことで、日本体育協会地域スポーツ育成専門委員会委員及び中央企画班班員、マネジメント資格部会部員、新たに総合型スポーツクラブの持続可能な推進に向けた調査研究調査協力者会議委員に就任、様々な場で地域スポーツクラブの育成普及に関して提案できるようになりました。
7. 本年度も理事長が大田区スポーツ審議委員として参画し、「大田区のスポーツ施策の具体的な展開について」の提言書をまとめ、区としても本格的に地域スポーツクラブの支援に一歩進みだしました。また、大田区役所管理職約 160 人の方々にオリンピックに向け地域スポーツの現状と方向性について講演させていただき、地域スポーツのよい PR の場となりました。
8. 昨年 2 月に設立された大田区総合型スポーツクラブ連絡協議会（おおたスポーツネットワーク）が中心に 7 月大田区総合体育館で、大田スポーツクラブ交流会が開催されピボットフットからバスケットボール・チア・ダンス・壮快体操・ビートフィットネスから約 200 人が参加し会場を盛り上げました。また、フェイスブックも開設し盛んに情報交流もはじまりました。
9. 都立蒲田高校とはエンカレッジスクール 7 年目にあたり、継続して体験

授業の市民講師を、ピボットフットから4種目の授業に講師を継続派遣、学校自身が大きく変わりつつあることを実感しました。授業は好評を博し学生の手ごたえもあり期待も大きい。さらに、蒲田高校を拠点に倶楽部との協働で新しい地域スポーツ文化形成で今後の展開が期待されます。また、理事長が本年度も蒲田高校および都立雪谷高校から学校運営協議会の委員として委嘱を受け参加しスポーツの専門家として提案をさせて頂きました。

10. 運営委託を受けているヤマト羽田クロノゲートヤマトフォーラムも少しずつ地域に浸透し、2014年度のアリーナー稼働率86.5%、登録団体91、利用延べ人数30,845人、トレーニングジム登録者1,170人、利用延べ人数6,861人で順調な運営となっております。ピボットフットとしての自主事業で、中学生や成人一般へのバスケットボール、主婦熟年層への機能改善体操、小学生のリズムダンスの各教室を開催し地域の方へスポーツの場を提供することができました。
11. さらに、フォーラムを中心にヤマト運輸主催の夏祭りの企画・運営に企画し、ピボットフットからリズムダンス、チアリーディングの演技披露を行い会場を盛り上げ、企業と地域を繋ぐ役割の一端を担うことができました。また、理事長がヘッドコーチを務めることになりました、ヤマト運輸の女子バスケットボールチームが2014年5月に発足し、実業団連盟に新規加盟、一年目にして全国実業団選手権大会(2015.1月札幌)に出場、予選敗退するも地域活動も含め今後の展開が期待されます。
12. 基幹事業である①バスケットボール教室は、小学生から成人まで8クラスの開催で年間145人の参加者を迎え、②テニス教室で16人、③高齢者対象の健康体操教室で21人、④チアリーディングでは、雪谷教室と出雲教室で合計181人、⑤スピードミントン教室で9人(ピジター43人)、⑥ビートフィットネス教室で21人、⑦リズムダンス教室で77人、⑧サッカー教室で32人、⑨機能改善教室で14人、⑩新規に学習支援教室3人(体験9人)、⑪バスケットボールフリータイム・ゲームタイム36回の開催で1,031人、2014年度倶楽部在籍総数は、519人で、年間延べ教室開催は1,871回、延べ参加者は19,410人となりました。ヤマトフォーラム利用延べ人数を加えると57,116人がピボットフットが提供するスポーツソフトに参加したことになりました。
13. 新規教室として雪谷チアリーディング教室参加者を中心に、学習支援教室を地元の塾と提携して開校、スポーツ活動と学習の両立に挑戦しました。さらに、ベネッセ(株)と協働でエデュケーションスポーツ、スポーツと学びをテーマに「かけこ教室」を開催し小学生150人が参加、日本スポーツ鬼ごっこ連盟と地元スポーツ推進委員・青少年対策委員会・総合型スポーツクラブとタイアップしスポーツ鬼ごっこの体験会とライセンス講習会を開催し、大田区に指導者ライセンス保持者14名が誕生し、2015年度で

の活動に展開予定。さらに、クロススポーツマーケティングと協働で3バイ3を開催したり、本年度は、企業との協働事業が具体的に展開できた年でもありました。また、葛飾区社会福祉協議会よりチアダンス教室に継続して講師派遣要請があり指導員を派遣し交流がなされました。

14. 教室活動以外に、専門組織として日本スピードバトミントン協会を設立し本格的な活動をスタートすることができ、世界連盟への加盟も許諾され、2015年12月には大田区で世界連盟公認のジャパンオープンを開催することができるようになりました。また、2014年12月には今までの交流大会から発展し、第一回ジャパンオープンを開催し多くの方の参加で大変盛り上がりしました。さらに、協会理事が夏ワルシャワで開催された選手権大会を視察し、世界連盟役員とも交流が図られ、2015年度への展開が期待されることとなりました。
15. 昨年につき、雪谷チアジュニアクラスの中学・小学生高学年選抜編成ヴァーシテイチームが、2015年2月1日駒沢体育館で開催されたUSAナショナルズ東京都予選を部門3位で通過、3月29日幕張メッセで開催された全国大会に出場、部門で4位の入賞を飾りました。また、2015年3月12-18日にアメリカフロリダで開催された世界大会に日本代表として出場、選手22人、保護者10人、コーチ3人のチーム編成で渡米、本場アメリカに触れ大感動・感激で、成績は国別対抗で3位、部門で6位と貴重な経験をして帰国しました。また、小学生編成のジュニアヴァーシテイチームも前掲大会に参戦、東京都予選で部門3位で通過、本大会で優勝を果たし、全国大会2連覇の偉業を成し遂げました。地域のシンボルチームとして今後の活躍が期待されます。また、12月21日に第二回自主発表会をゲストチームをお迎えしてヤマトフォーラムで開催することができ約800人の参加者で大盛況となりました。
16. 大田区の行事や商店街等地域のイベントや大会約70回に参加し活動を広めました。其々での参加者の反応は非常に良く、特に世代や学校さらに地域間を超えた一体感が自然に湧いてきたことも、倶楽部の考え方や提供内容が参加者および関係者に評価されたと思います。
17. 地域との関係強化は、継続して大田区より区主催の「区民スポーツまつり」や「大田ふれあいフェスタ」、「各文化センター祭り」等に参加要請を頂き地元スポーツ関係団体以外との関係も深くなってきました。さらに、地域包括ケアシステム推進にあたり、スポーツ分野と介護関係者との連携で、大田区にモデル事業を展開する検討が始まったことは、2015年度の大きなテーマとして期待されることとなりました。
18. バスケットボール五輪会のメンバーとして理事長が、混乱する日本バスケットボール界改革提案を世界バスケットボール連盟事務総長と直接提言し、現状のバスケットボール界改革に向け活発な活動がなされました。
19. 2015年3月に漸く待望の事務所が、小さいながら確保でき開設できた

ことは今後の展開に大きな成果となりました。しかし、課題としては、倶楽部の活動のPRは、まだまだ口込みでの情報伝達故に多くの参加者には至らず、事業採算的にはさらなる努力と運営面も含めて総合的な改善がより必要である。特に大きな課題として、安定的な会場と質の高い指導者および事務職員の確保によるマネジメント機能の強化・充実のための財務基盤の確立が継続的なテーマとなります。

Ⅱ. 事業内容

(1) スポーツ教室事業

1) バスケットボール教室

- ① 小学生 i 馬込地区 2・4 土/月午前 4月～ 馬込中学校体育館
入会者 11 人、年 9 回、延べ 72 人参加
- ii 蒲田地区 1・3 土/月午後 4月～ 蒲田高校体育館他
入会者 32 人、年 23 回、延べ 575 人参加
- iii 出雲地区 1・3 木/月夕方 4月～ 出雲小学校体育館
入会者 27 人、年 24 回、延べ 512 人参加
- iv 久原地区 2・4 月/月夕方 4月～ 松仙小学校体育館
入会者 12 人、年 22 回、延べ 219 人参加
- v 調布地区 2・4 月/火夕方 8月～ 東一小学校体育館
入会者 17 人、26 回、延べ 334 人参加
- vi 矢口地区 2・4 金/月夕方 4月～ 矢口中学校体育館
入会者 14 人、年 24 回、延べ 253 人参加
- vii 羽田地区 2・4 金/月夕方 1月～ ヤマトフォーラム
入会者 14 人、年 24 回、延べ 205 人参加
- ② 中高校一般
- i 蒲田地区 1・3 日/月夕方 4月～ 蒲田高校体育館他
入会者 18 人、年 23 回、延べ 249 人参加
- ③ バスケフリータイム・ゲームタイム
フリータイム 35 回、ゲームタイム 1 回開催し延べ参加者 1,031 人の方が、思い思いのスタイルでバスケットボールを楽しんで頂きました。
- ④ 3 人制バスケ「3 on 3」大会を開催
- i 期 日 2015 年 3 月 29 日
- ii 場 所 ヤマトフォーラム
- iii 参加者 35 人
- iv 主 旨 倶楽部会員・一般との交流試合

2) テニス教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 小学生から成人 (10～54 歳)
- ② 開催日 4月～ 2回/月 日曜日午前 年 26 回開催
- ③ 参加者 入会者 16 人、延べ 140 人参加
- ④ 場 所 蒲田高校・桜台高校テニスコート
- ⑤ 内 容 初級・中級者を対象としたテニススクール
- ⑥ 倶楽部交流試合 3 回
 - i 期 日 2014 年 10 月 19 日
 - ii 場 所 桜台高校・蒲田高校テニスコート
 - iii 参加者 9 人
 - iv 主 旨 倶楽部会員家族との交流試合

3) 健康体操教室 (雪谷地区)

- ① 対 象 洗足地区 50 歳～の中高齢者
- ② 開催日 4月～ 毎週金曜日の午後 年 44 回開催
- ③ 参加者 入会者 21 人、延べ 840 人参加
- ④ 場 所 (株)ニチレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 高齢者向け健康体操
- ⑥ 協 力 利根川 K スタジオ

4) チアリーディング教室 (雪谷地区ジュニア)

- ① 対 象 小学生～中学生
- ② 開催日 4月～ 毎週土日月曜日 年 527 回開催
- ③ 参加者 入会者 132 人、延べ 7,370 人参加
- ④ 場 所 雪谷中学校・大森十中体育館、(株)ニチレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上・USA ナショナルズ 大会や地域イベントの参加
- ⑥ ヴィッキーズ ヴァーシティ強化合宿
 - i 期 日 2014 年 12 月 26～28 日
 - ii 場 所 千葉県浪川荘
 - iii 参加者 ヴァーシティ 25 人
 - iv 主 旨 USA ナショナルズ 大会に向けての強化合宿
- ⑦ 第二回ヴィッキーズチアリーディングフェスティバル
 - i 期 日 2014 年 12 月 21 日、
 - ii 場 所 ヤマトフォーラム
 - iii 参加者 700 人
 - iv 主 旨 自主発表会でのチア演技と交流
- ⑧ UCA インターナショナル オールスター競技会
 - i 期 日 2015 年 3 月 12-18 日、
 - ii 場 所 USA フロリダ

iii参加者 35人

iv主 旨 日本代表として世界大会に参加

⑨ USA ナショナルズ全国大会

i 期 日 2015年3月28日・29日

ii 場 所 幕張メッセイベントホール

iii参加者 40人 (ヴァージティ、ジュニアヴァージティ)

iv主 旨 競技チアとしての大会参加

5) チアリーディング教室 (出雲地区ジュニア)

① 対 象 小学生

② 開催日 4月～ 毎週火曜日 年95回開催

③ 参加者 入会者49人、延べ2,146人

④ 場 所 出雲小学校体育館他

⑤ 内 容 基礎技術の向上／倶楽部は運営協力

⑥ イベント チアリーディングフェスティバル、OTAフェスティバル、
萩中ふれあいまつり等地域イベントに参加

6) スピードバトミントン教室 (蒲田地区)

① 対 象 30～50代

② 開催日 4月～ 隔週土曜日 年22回開催

③ 参加者 入会者9人 (ビビター43人)、延べ186人

④ 場 所 蒲田高校体育館

⑤ 内 容 日本初スピードバトミントンの基本と普及

⑥ イベント 第1回ジャパンオープンを開催 (世界連盟公認大会)

i 期 日 2014年12月7日 (日)

ii 場 所 ヤマトフォーラム

iii参加者 65人

iv主 旨 スピードバトミントン競技大会と会員間の交流

7) ジュニアビートフィットネス教室 (大森地区)

① 対 象 幼稚園～小学生

② 開催日 4月～ 月曜日3回/月 年72回開催

③ 参加者 入会者21人、延べ585人

④ 場 所 大森第五小学校体育館他

⑤ 内 容 音楽にのって楽しくビートダンス

⑥ イベント OKJエアロビックフェスティバル

i 期 日 2015年3月30日 (金)

ii 場 所 大森スポーツセンター

iii参加者 18人

iv 主 旨 演技発表
他 OKJ サマキャンプ・競技会や地域イベントに参加

⑦ 協 力 OKJ エアロビックファミリー

8) リズムダンス教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 小学生、中学生以上一般
- ② 開催日 4月～ 小学生火曜、一般日曜日 3回/月
- ③ 参加者 入会者 52人、延べ 1,800人 年 72回開催
- ④ 場 所 新宿小学校、蒲田高校体育館、公団集会室他
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス
- ⑥ イベント ヤマト運輸夏祭り参加
 - i 期 日 2014年8月9日(土)
 - ii 場 所 ヤマトフォーラム
 - iii 参加者 70人
 - iv 主 旨 演技発表

9) リズムダンス教室 (羽田地区)

- ① 対 象 小学生
- ② 開催日 1月～ 小学生月曜 3回/月
- ③ 参加者 入会者 25人、延べ 900人 年 36回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス

10) サッカー教室 (羽田地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 水曜、金曜日 8回/月
- ③ 参加者 入会者 32人、延べ 1,400人 年 76回開催
- ④ 場 所 羽田小学校、タートルスカイフィールド
- ⑤ 内 容 サッカーの基礎中心に楽しくサッカー
- ⑥ イベント 親子サッカー大会
 - i 期 日 2014年9月23日(日)
 - ii 場 所 羽田タートルフィールド
 - iii 参加者 35人
 - iv 主 旨 親子交流イベント
- ⑦ 協 力 (株)ファンルーツ

11) 機能改善教室 (羽田地区)

- ① 対 象 一般シニア
- ② 開催日 2月～ 金曜日 4回/月

- ③ 参加者 入会者 14 人、延べ 475 人 年 43 回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 運動の習慣化と健康体操の基本・基礎動作の習得

1 2) 学習支援教室 (新規)

- ① 対 象 雪谷チア教室参加者
- ② 開催日 9 月～ 日曜日 4 回/月
- ③ 参加者 入会者 3 人 (体験者 9 人)、延べ 118 人 年 40 回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 運動の習慣化と健康体操の基本・基礎動作の習得

※教室年間開催詳細一覧表は別紙参照

(2) 大田スポーツゴミ拾い大会

1) 第三回池上地区スポーツゴミ拾い大会

池上の環境保全を住民主体で担う視点で池上第二小学校で実施

- ① 主 催 実行委員会
- ② 共 催 ピボットフット
- ③ 対 象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2015 年 3 月 7 日 (土)
- ⑤ 参加者 28 チーム 137 名・スタッフ 70 名 合計 207 人
- ⑥ 場 所 大田区立池上小学校中心に半径 2 キロメートル
- ⑦ 内 容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い
 収集ゴミ 100.96 キログラム
 優勝チーム：ほがらか
 2 位：四中女バス A
 3 位：池上本門寺

2) 第六回大田スポーツゴミ拾い大会

羽田の国際化を視点到穴守神社を中心に実施

- ① 主 催 実行委員会
- ② 共 催 ピボットフット
- ③ 対 象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2015 年 3 月 22 日 (日)
- ⑤ 参加者 61 チーム 240 名・スタッフ 80 名 合計 320 人
- ⑥ 場 所 大田区穴守神社中心に半径 2 キロメートル
- ⑦ 内 容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い
 収集ゴミ 277.66 キログラム

優勝チーム：世界一の経理（ワタミ株）

2位：はばたき20S（地域情報紙編集委員会）

3位：TIACT（東京国際エアカーゴターミナル株）

（3）年間イベント活動は、別紙一覧表を参照

（4）主な指導者派遣活動等

- 1) 葛飾区ダンス・体操教室
 - ① 主 催 社会福祉法人かがやけ福祉会
 - ② 開催日 2013年4月～2014年3月
 - ③ 場 所 葛飾区シニア活動支援センター
 - ④ 参加者 在住55才以上シニア40人
 - ⑤ 内 容 チアダンス教室の開催に講師派遣
 - ⑥ 派遣者 山田僚子コーチ

- 2) 秋田県総合型クラブ連絡協議会講演会
 - ① 主 催 秋田県総合型クラブ連絡協議会
 - ② 開催日 2014年4月21日
 - ③ 場 所 メトロポリタン秋田
 - ④ 参加者 クラブ関係者100人
 - ⑤ 内 容 総合型クラブの自立に向けて
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長

- 3) NPO尾花沢総合スポーツクラブ10周年記念講演
 - ① 主 催 NPO尾花沢総合スポーツクラブ
 - ② 開催日 2014年6月1日
 - ③ 場 所 尾花沢市体育施設サルナート
 - ④ 参加者 クラブ関係者80人
 - ⑤ 内 容 オリンピックと総合型クラブの未来
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長

- 4) 群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会講演
 - ① 主 催 群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
 - ② 開催日 2014年6月21日
 - ③ 場 所 群馬県総合スポーツセンター
 - ④ 参加者 クラブ関係者70人
 - ⑤ 内 容 SC全国ネットワークの現状と今後について
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長

- 5) 横浜市地域クラブアシスタント養成講座
- ① 開催日 2014年7月12日(土)
 - ② 場 所 横浜市スポーツ医科学センター中研修室
 - ③ 参加者 クラブ運営スタッフ20名
 - ④ 内 容 総合型スポーツクラブの作り方
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長
- 6) 大田区スポーツサミット2014
- ① 主 催 (財)大田区体育協会
 - ② 開催日 2014年7月19日(土)
 - ③ 場 所 大田区民プラザ
 - ④ 参加者 区民一般600人
 - ⑤ 内 容 生涯スポーツ社会の実現に向けて
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長
- 7) クラブアドバイザーミーティング講師
- ① 主 催 (公財)日本体育協会
 - ② 開催日 2014年7月29日(火)
 - ③ 場 所 岸記念館体育会館
 - ④ 参加者 クラブアドバイザー50人
 - ⑤ 内 容 クラブの自立・自律のための取組
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長
- 8) 羽田地区地域のサマースクール
- ① 主 催 羽田特別出張所
 - ② 開催日 2014年8月18日・8月25日(月)
 - ③ 場 所 羽田文化センター体育館
 - ④ 参加者 小学生100人
 - ⑤ 内 容 リズムダンス教室
 - ⑥ 派遣者 生沼幹夫コーチ
- 9) 大田区教育委員会教育研究推進校研究発表会
- ① 主 催 大田区教育委員会
 - ② 開催日 2014年10月16日(木)
 - ③ 場 所 大森第一中学校
 - ④ 参加者 中学2年生120人
 - ⑤ 内 容 職業について(スポーツ)
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長

- 1 0) 総合型スポーツクラブプロジェクト
- ① 開催日 2014年10月23日(木)
 - ② 場 所 TKP品川カンファレンスセンター
 - ③ 参加者 総合型スポーツクラブ有志60人
 - ④ 内 容 プロジェクト設立説明会
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長
- 1 1) 東京都運動部活指導者講習会
- ① 開催日 2014年10月30日・31日(木・金)
 - ② 場 所 東京体育館サブアリーナ
 - ③ 参加者 都内中高等学校部活指導者、顧問50人
 - ④ 内 容 バスケットボールの基本技術の習得
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長
- 1 2) 岩手県生涯スポーツ推進研究大会
- ① 主 催 岩手県教育委員会
 - ② 開催日 2014年11月7日(金)
 - ③ 場 所 ふれあいランド岩手
 - ④ 参加者 生涯スポーツ関係者70人
 - ⑤ 内 容 東京オリンピック開催と総合型クラブの役割
- 1 3) 総合型地域スポーツクラブ育成事業関東ブロックミーティング
- ① 主 催 (公財)日本体育協会、SC全国ネットワーク
 - ② 開催日 2014年11月15日(土)～16日(日)
 - ③ 場 所 茨城県水戸生涯学習センター
 - ④ 参加者 関東ブロック地域スポーツクラブ関係者120人
 - ⑤ 内 容 総合型クラブの本質を考える
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長
- 1 4) 大田区雪池小学校6年生キャリア教育授業
- ① 開催日 2014年11月25日
 - ② 場 所 雪池小学校
 - ③ 参加者 6年生120人
 - ④ 内 容 自分の仕事について
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長
- 1 5) 経団連スポーツ部会講演
- ① 主 催 日本経済団体連合会

- ② 開催日 2015年2月12日(水)
- ③ 場 所 経団連会館
- ④ 参加者 スポーツ推進委員会企画部会 60人
- ⑤ 内 容 地域スポーツインフラの構築と経済界との連携
- ⑥ 派遣者 桑田理事長

1 6) 大田区立馬込中学校「健全育成の会」講演会

- ① 開催日 2015年3月5日(土)
- ② 場 所 馬込中学校
- ③ 参加者 全校中学生、先生、保護者 270人
- ④ 内 容 2020年東京オリンピックと私
- ⑤ 派遣者 桑田理事長

1 7) 大田区役所幹部職員研修会

- ① 主 催 大田区
- ② 開催日 2014年11月20日(木)
- ③ 場 所 大田区役所
- ④ 参加者 大田区役所幹部職員 100人
- ⑤
- ⑥ 内 容 東京オリンピックと地域スポーツクラブ
- ⑦ 派遣者 桑田理事長